

市立病院等の医療提供体制のあり方に関する検討会 (北九州市の小児救急医療体制に関すること)について

1 開催目的

北九州市における救急医療体制、特に小児救急の医療体制のあり方について、広く有識者から意見を聴取すること。

2 検討事項

北九州市は、市医師会など医療関係者の協力のもと1次から3次救急まで、内科、外科、小児科など救急医療体制を整備し、市民に適切な医療を提供している。

このような中、小児救急について、小児救急ネットワークの軸となっている市立八幡病院では、時間外の患者が集中し、小児患者の受け入れが、ひっ迫した状況となっている。また令和6年4月からスタートした医師の働き方改革や全国的な小児科医の減少傾向により、夜間・休日急患センター等の出務医師の確保が困難になっている。

このため本検討会で、これらの課題を踏まえた持続可能な小児救急の医療体制のあり方について議論を行う。

3 開催スケジュール

開催	時期	議題
第6回	令和7年10月27日(月)	北九州市の小児救急医療体制の「現状と課題」について ・小児救急の現状への意見 ・小児救急の課題等への意見 ・その他の意見
第7回	令和7年12月	第6回の意見集約と新たな意見の聴取 ・課題の再確認 ・新たな対策案の意見
第8回	令和8年2月	持続可能な小児救急のあり方に関する主な意見のまとめ

※第1～5回については、「医療センターの老朽化対策等について」を議題として開催した。
(期間:令和6年11月～令和7年8月)

※「小児救急医療体制について」の議題については、検討状況により、第9回検討会(令和8年4月以降)開催の可能性あり。